

第2学年 学級活動学習指導案

1. 単元名 「はのおうさまを まもろう」(2時間単元)

2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

こんな子どもを
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちは乳歯から永久歯に生えかわる時期であるため「前歯がぐらぐらしてきた。」「大人の歯がはえてきた。」など日常から話してくれることも多く、歯の変化に関心が高まってきている。歯科検診の結果、本学級全員に1本以上の第一大臼歯の萌出がみられるが、第一大臼歯について知らない子どもが97%である。また、第一大臼歯が処置歯の子が1名、要観察歯の子が2名いる。 ○ アンケートの結果から、子どもたちの74.3%が1日に2回以上の歯磨きを習慣づけており、むし歯をつくらないために歯を磨くという意識を持っている。一方で、めんどろだと感じている子やただなんとなく歯全体を磨いているという子もみられ、自分の歯列にあった磨き方をしている子は少ない。

こんな教材で
<p>日常的に歯を磨いている子どもたちも、乳歯や永久歯という言葉は知っているものの、第一大臼歯という名前を聞いたのはほとんどが初めてである。第一大臼歯は、口の中で最も大きく、ものを噛む上でも最も重要な歯である。また、咬合の安定の上でも重要な歯だが、その形状や生える場所等からむし歯になりやすい歯である。子どもたちの第一大臼歯の萌出がほぼ完了したこの時期、この歯に対する知識・理解を深めることは大切である。その大切さに気づかせながら、試行錯誤して自分の歯を実際に磨くことは、自分の健康を守ろうとする自己管理の態度の育成や基本的な生活習慣の形成の上からも意義深いと考え、本単元を設定した。</p>

こんな支援で
<p>つかむ段階では、紙芝居や歯科検診結果を用い、第一大臼歯がとても大切な歯であることとむし歯になりやすいことを理解させる。</p> <p>きづく段階では、自分の第一大臼歯を観察したり、歯の模型(一部)を見たりすることで歯の特徴からむし歯になりやすい理由を考えやすいようにする。</p> <p>ふかめる段階では、歯の模型(全体)を使ってむし歯にならない磨き方を考えさせ、実際に歯を染め出し、工夫しながら第一大臼歯を磨くことで、これからの歯みがきに活かすことができるようにしたい。</p> <p>ふりかえる段階では、自分の目標を決め、これからの生活で、第一大臼歯を大切にして磨く意欲を高めることができるようにする。</p>

めざす子どもの姿
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の健康に関心を持とうとする子ども ○ 基本的な生活習慣を振り返り、自分の生活を意識する子ども ○ 規則正しい生活を送ろうとする子ども

3. 指導目標

指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一大臼歯にあった磨き方を考え、きちんと磨こうとする意欲を持たせる。(態度) ○ 第一大臼歯が虫歯になりやすい理由を考えることができるようにする。(思考・判断) ○ 第一大臼歯の大切さを理解することができるようにする。(知識・理解)

4. 本時学習

(1) 本時 6月16日(木) 公開授業II

(2) 本時の目標

- 第一大臼歯にあった磨き方を考え、きちんと磨こうとする意欲を持つ(態度)
- 第一大臼歯が虫歯になりやすい理由を考えることができる。(思考・判断)
- 第一大臼歯の大切さを理解することができる。(知識・理解)

(3) 準備

教師・・・歯の模型 パネル 歯垢染色液 歯ブラシ コップ うがい用の水
 児童・・・歯ブラシ コップ タオル ビニール 鏡 牛乳パック 綿棒 学習プリント

5. 展開(2/2)

段階	学習活動と内容	学習活動に即した支援
つかむ	1. めあてを確認する。 ○ 第一大臼歯が歯の王様であることを知り、そういわれる理由を知る。 ・ 歯の中で一番大きい。 ・ かむ力が一番強い。 ・ 後からはえてくる歯の位置を決める。 ○ 第一大臼歯がむし歯になりやすいことを知る。 ○ めあてを確認する。	※ 第一大臼歯の役割の理解を促すため、紙芝居を使う。 ※ 歯科検診の結果について、2年生と4年生で比較し、第一大臼歯の虫歯のなりやすさをグラフで示す。
	めあて だいー大きゅうしをむし歯から守ろう	
きつく	2. 第一大臼歯の位置や本数を確認する。 ○ 鏡を使って、自分の歯を観察し、第一大臼歯の特徴をみる。 3. 第一大臼歯が虫歯になりやすい理由を歯の特徴から考え、発表する。 ・ 奥歯だから磨きにくい。 ・ でこぼこ(溝が深い)している。 ・ 生えたての歯は、完全にできあがっていないので弱い。	※ 歯の全体図を使って、第一大臼歯の場所を示す。 ※ 歯の模型(一部)を提示し、観察した第一大臼歯の特徴からむし歯になりやすい理由を考えられるよう支援する。
ふかめる	4. 第一大臼歯が虫歯にならないためにはどのように歯を磨くとよいか考え発表する。 ・ 歯ブラシの先をつかう。 ・ 歯ブラシを横から入れる。 5. 考えた磨き方で、第一大臼歯の汚れがとれるか確かめる。 ○ 歯垢染色液で第一大臼歯の下2本を染め、発表で考えた磨き方をもとに、自分の第一大臼歯を磨き、よりよい磨き方を考える。	※ 歯の模型(全体)を使い、どのように磨くとよいか考えやすいようにする。 ※ 染め出しをし、ブラッシングをさせ、鏡で染め出した色がなくなったか確認させる。 ※ 歯の生え方に応じて、個別に磨き方の助言をしていく。
ふりかえる	6. 学習のまとめをする。	※ 板書や歯の模型を使いながら、本時のまとめをしていく。
	まとめ だいーだいきゅうしをむし歯から守るためには、ハブラシをよくからいれたり、ハブラシの先をつかってみがくとよい。	
	○ 今後、第一大臼歯を大切にするためにどのようにしていくかを書く。	※ 今後の自分の目標を発表することにより、学級全体の意欲を高めていく。

6. 学習と指導の計画

配時	1	2 (本時)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第一大臼歯にあった磨き方を考え、きちんと磨こうとする意欲を持つ。 (関心・意欲・態度) ○ 第一大臼歯が、虫歯になりやすい理由を考えることができる。(思考・判断) ○ むし歯の原因や第1 大臼歯の大切さを理解することができる。(知識・理解) </div>	
つかむ	<p>1. めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科検診結果やアンケートよりむし歯になっている人が多いことを知る。 ○ むし歯の原因を考え、発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて むしばになりにくい生活を考えよう。</p> </div>	<p>1. めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の第一大臼歯の役割をふりかえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯の中で一番大きい。 ・ かむ力が一番強い。 ・ あとからはえてくる歯の位置を決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>めあて だい一大きゅうしをむしばから守ろう。</p> </div>
きづく	<p>2. むし歯と砂糖の関係を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図を見たり、話を聞いたりして、むし歯になるプロセスを知る。 	<p>2. 第一大臼歯の位置や本数を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鏡を使って自分の歯を観察し、第一大臼歯の特徴をみる。 <p>3. 第一大臼歯の特徴より、虫歯になりやすい理由を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奥歯だから磨きにくい。 ・ でこぼこ(溝が深い)している。 ・ はえたばかりは、できあがっておらず弱い。
ふかめる	<p>3. 歯につまったり、残ったりするおやつについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おやつアンケートの結果をみる。 ○ どんなおやつがより「甘く」「歯に残りやすい」かを考える。 <p>4. 今後、どのようなおやつを食べようと思うか、歯に残った時はどうするかを考え、発表する。</p>	<p>4. 第一大臼歯が虫歯にならないためには、どのように歯を磨くよいか考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯ブラシの先を使う。 ・ 歯ブラシを横から入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えた磨き方で、第一大臼歯の汚れがとれるか確かめる。 ○ 歯垢染色液で第一大臼歯の下2本を染め、発表で出てきた磨き方をもとに、自分の第一大臼歯を磨き、よりよい磨き方を考える。
ふりかえる	<p>5. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ 砂糖の少ないおやつをとるようにしたり、歯を磨いたりして口の中をきれいにしておくことが大切。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙芝居を見て、次時の学習を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一大臼歯が歯の王様であることを知り、そう言われる理由を理解し、次時で詳しく学習することを知る。 	<p>5. 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ だい一大きゅうしをむしばからまもるためには、ハブラシをよこから入れたり、ハブラシの先をつかったりしてみがくとよい。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後、第一大臼歯を大切にするためには、どのようにしていくかを書き、発表する。 ○ 今後、一週間、自分のめあてが守れたかチェックしていくことを知る。

第4学年 保健学習指導案

1. 単元名 「育ちゆく体とわたし」（4時間単元）

2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

こんな子どもを
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本学級の子どもたちは、三年生の保健学習において「健康な生活」の学習に取り組んでいる。その中で、健康の保持増進には健康によい生活行動と生活環境が必要であることを学んできている。 ○ 学習前のアンケートでは、「学校から帰ってからや休みの日に運動していますか。」という質問に対し、「あまりしない・しない」が8名いた。睡眠時間は、8時間以上が21名、6～8時間が9名で、低学年に比べ、だんだん睡眠時間は減ってきている。好きな食べ物は、肉類・ごはん類・デザート類、嫌いな食べ物は、野菜類・貝類が多く、半数近く好き嫌いがある。全員が運動・睡眠・食べることは「大事・まあまあ大事」と答えているが、それが実生活に結びついていないと考える。

こんな教材で
<ul style="list-style-type: none"> ○ 体の発育・発達については、その一般的な現象や思春期の体の変化などについて理解できるようにするとともに、男女による違い・個人による違いがあることを理解できるようにする。そして、これから2回目の発育の盛んな時期を迎えることを意識させたい。 ○ 体をよりよく発育・発達させるためには、いろいろな食品をバランスよくとる食事のしかたや、自分にあった適切な運動習慣、十分な睡眠と適度な休養が毎日の生活に必要なことを理解できるようにする。 ○ この学習を通して、自分の生活を振り返り、よりよく育つために健康な生活を送ろうという意識を育てていきたい。

こんな支援で
<ul style="list-style-type: none"> ○ つかむ段階では、発育の仕方の特徴を知ることによって、よりよく育つために大切なことに対する課題意識を持てるようにする。 ○ きづく段階では、子どもたちの思いや考えを板書し、視覚的に整理することで、学習課題における視点を焦点化できるようにする。 ○ ふかめる段階では、1人ひとりの考えを表現できる機会を増やすためにグループ活動を取り入れ、自分たちの課題への関心・意欲を高められるようにする。また、資料を提示して考えさせることによって理解を深められるようにする。 ○ ふりかえる段階では、自分の生活に結びつけて、健康な生活のために必要なことを具体的に考えることができるようにする。

めざす子どもの姿
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の心や体の状態を知ろうとする子ども ○ 毎日の生活を振り返り、自分なりの課題を持つようとする子ども ○ 体をよりよく成長させるために、健康によい生活を送ろうとする子ども

3. 指導目標

指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 体は、年齢に伴って変化することに関心を持ち、個人による違いがあることに気づき、自分のこととして生活に結びつけようとしている。(態度) ○ 体をよりよく発育・発達させるために必要なことを考えることができる。(思考・判断) ○ 体は、年齢に伴って変化することや体の発育・発達には個人による違いがあること、思春期の体の変化には、発現の時期に個人による違いがあることや男女の特徴があらわれてくること、よりよい発育・発達のために必要なこと理解することができるようにする。(知識・理解)

4. 本時学習

(1) 本時 6月16日(木) 公開授業II

(2) 本時の目標

- 体をよりよく発育させるために必要なことに関心を持ち、進んで学習に取り組もうとする。
(態度)
- 自分の生活をふり返り、心身の健康な発育のためには、食事、運動、睡眠・休養をどのよ
うにしたらよいかを考えることができる。
(思考・判断)
- 体のよりよい発育には、調和のとれた食事、適切・適度な運動、十分な睡眠や適度な休養
が必要であることがわかる。
(知識・理解)

(3) 準備 学習プリント、手のレントゲン写真、骨の断面模型、成長ホルモン分泌グラフ、

5. 展開(2/4)

段階	学習活動と内容	学習活動に即した支援
つかむ	1. 学習課題をつかむ。 ○ 前時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> これからの発育について考えよう。 </div>	※ 2回目の発育の盛んな時期を迎えることや 発育の仕方は、人によって違うことを確認 しておく。
きづく	○ 本時のめあてを確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> めあて よりよく発育するために、気をつけるとよいことについて考えよう。 </div>	※ 手のレントゲン写真を見せて、よりよく発 育しようという思いを持てるようにする。
ふかめる	2. よりよく発育するために気をつけるこ とを考え、話し合う。 ○ 食事で気をつけること考え、発表する。 <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・好き嫌いをしない。 ・いろいろな食べ物をバランスよく食べる。 </div> ○ 睡眠について考え、発表す ^ズ <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ・早く寝る。 ・たくさん寝る。 </div>  </div> ○ 運動の大切さについて考え、発表する。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-right: 10px;"> ・天気のよい日は外で遊ぶ。 ・毎日運動する。 </div>  </div> ○ 資料を見たり話を聞いたりして、より よい発育のために大切なことを知る。	※ 子ども達の発表を板書するときに、運動、 睡眠、食事という項目で整理しておく。 ※ グループで話し合うときには、項目ごとに 気をつけることを、具体的に話し合わせる。 ※ 寝ている間に成長ホルモンがでることを グラフを見せながら知らせ、ぐっすり眠ること や早く寝る大切さを確認する。 ※ 睡眠と運動とのつながりについて考えさ せる。 ※ 健康な骨とすかすかの骨の断面模型を提 示して運動の大切さを知らせる。
ふりかえる	3. 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> よりよく発育するためには、自分の体力に あった適切な運動、十分な休養と睡眠、調 和のとれた食事を毎日続けることが大切で ある。 </div> ○ 「今日の学習で」を書き、発表する。	※ 黒板に示した内容を見直し、今日の学習で 大切だったことを振り返る。 ※ これから自分が気をつけたいことを考え て書かせる。

6. 学習の指導の計画

配時	1	2 (本時)	3	4
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのこれまでの体の発育から、年齢による体の変化に気づくとともに、これからの発育に関心をもつ。(態度) 体の発育の仕方の特徴について自分自身について照らし合わせて考え、今、自分がどの段階にいるかを知ることができるようになる。(思考・判断) 体の発育の仕方の特徴が分かる。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> よりよく発育するための食事、運動、休養や睡眠のあり方に関心をもつことができる。(態度) 自分の生活を振り返り、心身の健康な発育のためには食事、運動、睡眠・休養をどうしたらよいかを考え、判断することができるようになる。(思考・判断) よりよい発育には、調和のとれた食事、適切・適度な運動、十分な睡眠・休養が必要であることが分かる。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> 思春期に起こる体の変化に関心をもち、自分や友達の体の変化に理解ある態度で接する心構えをもてるようになる。(態度) 自分や友達の体の変化を、個人による違いを前提として、思春期の変化としてとらえることができるようになる。(思考・判断) 思春期に起こる体の変化は、ホルモンの働きであることを理解する。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> 思春期における、初潮・精通のしくみと異性への気もちの変化を理解し互いに協力し合う心構えをもつことができる。(態度) 思春期の男女の体の中で起きる変化を理解し、自分自身の問題として考えることができる。(思考・判断) 思春期に表れる、初潮・精通のおよその仕組みと、異性への気もちの変化を理解することができる。(知識・理解)
つかむ	<ul style="list-style-type: none"> 人間の一生の成長の図を見て、自分が今どのあたりにいるか話し合う。 <p>めあて</p> <p>わたしたちの体は、これからどのように発育していくのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時学習を振り返り、これからの発育について考える。 <p>めあて</p> <p>これからの発育について考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 思春期の意味を知る。 <p>めあて</p> <p>思春期には、体の外側にどんな変化があらわれるのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時を振り返り、学習課題をつかむ。 <p>めあて</p> <p>思春期には、体の内側にどんな変化があらわれるのだろう。</p>
きづく	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見て自分の成長に関心を持つ。 <p>めあて</p> <p>体の発育のしかたについて調べよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 手のレントゲン写真を見て、よりよく発育したいという思いを持つ。 <p>めあて</p> <p>よりよく育つために、気をつけるとよいことについて考えよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上級生や中学生と自分の体つきの違いで気づいたことを発表する。 <p>めあて</p> <p>思春期になると、男女の体つきの特徴は、どんなところにあらわれるのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女で体の中に違いがあるのか考える。 <p>めあて</p> <p>思春期になると、体の中や心の中にどんな変化が起きるのだろう。</p>
ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の4人の発育の様子を見て気づいたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 身長には個人による違いがあるが、みんなだんだんのびている。 身長のものびが盛んになる時期は、人によって違う。 小学校高学年から高校生くらいまで、身長のものびが大きい。 教科書の作文例を読み、体の発育のしかたについて、誰もが不安や期待を持っていることを知る。 入学してから今までの自分の身長を知り、これからの発育に期待感を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 気をつけるとよいことを考え、グループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 運動で気をつけること 睡眠で気をつけること 食事で気をつけること 成長ホルモン分泌グラフを見て、睡眠中成長することを知る。 健康な骨とすかすかの骨の断面模型を見て、運動の大切さを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに男女の体つきの違いについて話し合う。 体つきだけでなく、体のいろいろなところにあられる変化について考える。 <ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに思春期にあられる男女の体の変化について考え話し合う。 思春期の体の変化がどうしてあられるのか知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を見ながら、女性器のつくりと働きについて知る。 「初潮って何だろう」を読み、教師の説明を聞いて、月経の起こり方を知る。 資料を見ながら、男性器のつくりと働きについて知る。 「精通って何だろう」を読み、教師の説明を聞いて射精の起こり方を知る。 なぜ、思春期になると初潮や精通が起こるのか考える。 <ul style="list-style-type: none"> 初潮や精通は誰にでも起こるが、その時期は個人によって違う。 異性に対してどのような気もちで接すればよいか考える。
ふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 <p>発育のさかんな時期が2回あり、発育の仕方には、人によって違いがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今日の学習で」を書き、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 <p>よりよく育つためには、自分の体力にあった適切な運動習慣、十分な休養と睡眠、調和のとれた食事が大切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今日の学習で」を書き、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 <p>思春期になると、体つきや体のいろいろなところ男女の特徴があらわれる。時期やあらわれ方は人によって違う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今日の学習で」を書き、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 <p>思春期には体の中や心の中で、大人になるための様々な変化が起こる。人と比べるのではなく、自分の心と体を大切にしようとお互いの変化を大切にしていこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「今日の学習で」を、発表する。

第6学年 保健学習指導案

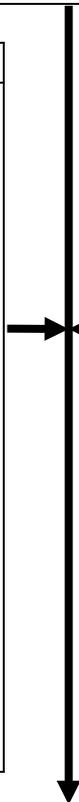
1. 単元名 「病気の予防」(8時間単元)

2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

こんな子どもを
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本学級の子どもたちは、5年生までの保健学習において、健康の保持増進には健康によい生活行動と生活環境が必要であること、体や心は年齢とともに発育・発達し変化すること、けがの多くは発生要因に対する適切な対応によって防止できることなどを学んできている。 ○ 学習前のアンケートでは、「病気の予防」に対する意識を問う「ハンカチ・ティッシュは毎日もってきていますか。」という質問に対し、「毎日必ずもってきている」(9人)、「時々忘れることがある」(15人)、「あまりもってこない」(6人)、「もってこない」(4人)というようにハンカチ・ティッシュをきちんともってきている子どもが多いわけではない。また、もってきている人数は多くてもハンカチ・ティッシュは毎日引き出しに入れている、ハンカチ・ティッシュをポケットから出すことが面倒だから洋服で手をふくというような実態も見られる。このような実態から病気の起こり方とその予防の仕方に対する子どもたちの知識理解の向上の必要性を感じさせる。

こんな教材で
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本単元「病気の予防」は、病気の発生要因と起こり方を知り、その予防の仕方について理解することをねらいとしている。前半の3時間(1学期)は、「病気の起こり方と病原体がもたくなって起こる病気の予防」を学習し、後半の5時間(3学期)では「生活行動がかかわって起こる病気の予防」を学習する。 ○ 前半ではかぜやインフルエンザなどの病気の発生要因やその予防方法について学習していくことで他の病気の成因にもつながっていくようにわれわれのもつ「免疫」の力に着目していく。後半では自分たちの生活行動を見つめ直していくことを通して「生活習慣病」「喫煙」「飲酒と薬物」の危険性を知り、病気を未然に予防するための知識や正しい行動について理解できるようにしていく。 ○ これらの学習を通して、子どもたちが自分の生活をふり返り、病気を予防しながら健康な生活を送ろうという意識を育てていきたい。

こんな支援で
<ul style="list-style-type: none"> ○ つかむ段階では、インフルエンザの罹患者数等のグラフや表を提示することによって子どもたちの中から課題意識が生まれてくるようにする。 ○ きづく段階では、自分たちの経験などを用いて考えを出し合うことで共通点を見い出し、学習課題に対する深める視点を焦点化できるようにする。 ○ ふかめる段階では、考えを精選し仲間分けをしたり、手洗い実践などの体験活動の結果について話し合ったりすることで学習課題を焦点化しためあてに対する子どもたち一人ひとりの理解が深まるようにする。また、一人ひとりの考えを表現できる機会を増やすためグループ活動を取り入れる。 ○ ふりかえる段階では、今日の学習をふりかえり、本時で理解したことと理解したことに対する自分の考えを書かせることで自分の生活に即した理解につながるようにする。



めざす子どもの姿
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の心や体の状態を知ろうとする子ども ○ 自分の心や体をふり返り、自分なりの課題をもって解決しようとする子ども ○ 心や体をよりよく成長させるために、調和をとれた生活を送ろうとする子ども

3. 指導目標

指導目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 病気の起こり方やその予防について関心をもち、自ら健康な生活を送るため、進んで学習に取り組もうとする。(態度) ○ 病気の起こり方やその予防方法についてめあてをもち、積極的に話し合いながら解決の方法を考え、判断することができる。(思考・判断) ○ 病気の予防方法について課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけることができるようにする。(知識・理解)

4. 本時学習

(1) **本時** 6月16日(木) 公開授業I

(2) **本時の目標**

- 病原体がもとになって起こる病気の予防の方法に関心をもち、進んで学習に取り組もうとする。(態度)
- 病原体の感染経路と予防方法の分類について積極的に話し合い、ていねいな手洗いの大切さや予防接種の意味について考えることができる。(思考・判断)
- 病原体がもとになって起こる病気の予防の方法を理解する。(知識・理解)

(3) **準備**

でんぷんのり、洗面器3つ、バケツ2つ、ペットボトル3つ、ヨウ素液、前時の学習内容がわかる掲示物、予防の方法を書くカード、予防接種のヒントとなるカード

5. 展開 (2/8)

段階	学習活動と内容	学習活動に即した支援
つかむ	1. 学習課題をつかみ、めあてを確認する。 ○ 小学校の昨年度のインフルエンザ罹患者数から学習課題をもつ。	※ インフルエンザの罹患者数のグラフを見せ、自分たちに何かできることはないかという課題意識をもたせられるようにする。
	病原体はどうやって体の中に入ってくるのだろう。また、病原体がもとになっておこる病気の予防の方法について考えよう。	
きづく	○ 食中毒やインフルエンザを例にどうやって病原体が体の中に入ってくるのか考える。 ○ 本時のめあてを確認する。	※ 感染経路を明確にさせるために例を食中毒とインフルエンザにしぼって発言させるようにする。
	めあて 病原体がもとになっておこる病気の予防にはどんな方法が考えられるだろう。	
ふかめる	2. 自分の考えをつくり、班や全体で交流する。 ○ 予防方法を自分で考える。	※ 自分で予防方法を考え、その後班で交流させることでより多くの予防方法が出てくるようにする。
	○ 予防の方法を班で考え、カードに記入する。	※ カードを何枚か教師が黒板に貼った後、どんな仲間なのか子どもたちに考えさせ、その後のカードの追加は子どもたちに行わせる。
	○ 黒板にカードを貼り、その仲間がどんな仲間か考える。	※ 仲間分けでは発言につけ加えや質問をするよう助言することで、自分たちでどんな仲間分けになっているのか判断できるようにする。
	○ 手洗い実践を通して道筋を断つためにはどんな手洗いが大切なのか考える。	※ 手洗い実践では3パターンを用意し、それらを比較させることで手洗いの重要性に気づくことができるようにする。
ふりかえる	○ ヒントカードを用いて予防接種の意味を考える。	※ ワクチンと免疫のカードを提示し、予防接種の意味を考えさせる。
	2. 本時のまとめをする。	
	まとめ 病原体がもとになっておこる病気の予防には、病原体の発生するもとをなくす、体の中に入れない、体の抵抗力を高めていくことが必要である。	
	○ 本時のふりかえりを書く。	※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことにはそれに対しての自分の考えを書くよう助言する。

7. 学習と指導の計画

配時	1	2 (本時)	3	4
<p>本時の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな病気やその起こり方について関心をもち、病気の原因を進んで調べようとする。(態度) ○ 病気はいくつかの原因がかかり合って起きることから、身近な病気「かぜ」を例にその原因を多様に考え、原因別に分類することができる。(思考・判断) ○ 病気は病原体・体の抵抗力・生活行動・環境がかかりあって起こること、体には病原体を体に入れない仕組みや自然治癒力があることを理解する。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病原体がもとになって起こる病気の予防の方法に関心をもち、自分でできる予防を実行しようとする。(態度) ○ 病原体の感染経路と予防の方法について積極的に話し合いその分類について考えることができる。(思考・判断) ○ 病原体がもとになって起こる予防の仕方を理解する。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ エイズの起こり方に関心をもち、その予防の仕方について正しく理解し実践しようとする。(態度) ○ エイズの病気の原因を考え、それらの予防するためにはどうすればよいかを考えることができる。(思考・判断) ○ エイズの起こり方について理解を深め、病気に対する偏見をもたないようにする。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の仕方がかかわって起こる病気の予防の仕方に関心をもち、進んでよい生活習慣を身につけようとする。(態度) ○ 生活の仕方が病気とどのようにかかわっているのかを考え、生活習慣予防のための行動選択ができる。(思考・判断) ○ 生活習慣病は毎日の生活の仕方と深い関係があり、子どものときからよい生活習慣を心がけ実行することが予防につながることを理解する。(知識・理解)
<p>つかむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最近体調を壊したことについて話す。 <div data-bbox="240 661 834 751" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>身近な病気の起こり方について、その原因を考えてみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ 保健室に訪れた子どもの病気から自分たちの身の回りの病気について関心をもちさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年流行したインフルエンザについて話す。 <div data-bbox="875 661 1469 751" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病原体はどうやって体の中に入っていくのだろう。また、病原体がもとになって起こる病気の予防の方法について考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ インフルエンザの罹患者数のグラフを見せ、課題意識をもたせられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ エイズウイルスの写真を見せて何の写真か考える。 <div data-bbox="1510 661 2104 751" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病原体の原因となって起こる病気のエイズについて調べてみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ エイズウイルスの写真資料を見せ、課題意識をもたせられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞等に載っている生活習慣病についての記事を見せ、生活習慣病は命に危険を及ぼすものであることを知る。 <div data-bbox="2145 709 2739 800" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生活の仕方がかかわって起こる病気はどんなものがあるのか調べてみましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ※ 生活習慣病の記事や統計資料を見せ、課題意識をもたせられるようにする。
<p>きづく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「病気」とは何なのか考える。 ○ 身近な病気をあげる <div data-bbox="240 898 834 989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「かぜ」は、どんなときひいてしまうのでしょうか。原因を考えてみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな時にかぜをひくのかを考え発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 食中毒やインフルエンザを例にどうやって病原体が体の中に入ってくるのか考える。 <div data-bbox="875 898 1469 989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病原体がもとになって起こる病気の予防にはどんな方法が考えられるだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな予防が必要か自分で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ エイズについて知っていることを発表する。 <div data-bbox="1510 898 2104 989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エイズについて正しく知り、みんなが気持ちよく生きる社会について考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ エイズとHIVの違いを知り、それらがどんな病気なのかを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣とは何かについて考える。 <div data-bbox="2145 898 2739 989" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>よい生活習慣と悪い生活習慣を分類し、悪い生活習慣がもたらすことについて考えよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ よい生活習慣と悪い生活習慣との違いをはっきりさせる。
<p>ふかめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループでかぜの原因について話し合いを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 板書を使って、分類ごとに子どもたちの意見をはり、どんな仲間なのか考えさせる。 ※ 途中からは子どもたちに自分の班から出た意見の紙をはらせる。 ○ かぜの原因を病原体、体の抵抗力、生活行動、環境に分類する。 ○ 他の病気の原因についても考える。 ○ 免疫とウイルスについて知る。 ※ 免疫について体の掲示物を用いながら病気から体を守るしくみについて考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予防の方法を班で考えカードに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ※ カードを何枚か教師が黒板にはった後、どんな仲間なのか子どもたちに考えさせ、その後のカードの追加は子どもたちに行わせる。 ○ 黒板にカードをはり、その仲間がどんな仲間か考える。 ○ 手洗い実践を通して道筋を断つためにどんな手洗いが大切なのか考える。 ※ 手洗い実践では3パターンを用意し、それらを比較させることで手洗いの重要性に気づけるようにする。 ○ ヒントカードを用いて予防接種の意味を考える。 ※ ワクチンと免疫のカードを提示し、予防接種の意味を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ エイズと免疫の関係についてグループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 病気から体を守るはたらきとエイズウイルスの関係からエイズとはどんな病気なのか理解させる。 ○ エイズに関する新聞記事を資料とし、社会的差別について考える。 ※ エイズウイルス新聞記事等の資料を用いて反差別の意識を持たせる。 ○ もし自分がエイズにかかったとしたら、また親しい人がエイズにかかったとしたらどのように行動するか話し合い発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の分類を話し合い発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 板書を使って良い習慣と悪い習慣を視覚的に分類し、理解しやすくする。 ○ 悪い生活習慣からもたらされる病気（がん、心臓病、脳の血管の病気）について知る。 ○ なぜ血管がつまるのかを考え、自分の生活習慣を見直す。 ※ 生活習慣病は大人だけでなく子どもの病気でもあることを知らせる。
<p>ふりかえる</p>	<div data-bbox="240 1633 834 1724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病気は、病原体や体の抵抗力、生活のしかた、環境がかかり合っておこる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 ※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対する自分の考えを書くよう声かけをする。 	<div data-bbox="875 1633 1469 1724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>病原体がもとになって起こる病気の予防には、病原体の発生するもとをなくす、体の中に入れない、体の抵抗力を高めていくことが必要である。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 ※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対する自分の考えを書くよう声かけをする。 	<div data-bbox="1510 1633 2104 1724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>エイズは病原体が原因でおこる病気であり、日常生活でうつることはないということをきちんと知り、差別や偏見のない社会をつくっていくことが大切である。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 ※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対する自分の考えを書くよう声かけをする。 	<div data-bbox="2145 1633 2739 1724" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生活習慣病を予防するには、食事の取り方や毎日の運動、規則正しい生活など、毎日の生活の仕方に注意することが必要である。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 ※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対する自分の考えを書くよう声かけをする。

5	6	7	8
<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯や歯ぐきの病気の起こり方に関心を持ち、進んで予防に努めようとする。(態度) ○ 葉や歯ぐきの病気にならないために、自分の生活で改善するところはないかを考えることができる。(思考・判断) ○ 歯を失わないためには、むし歯や歯ぐきの病気を予防することが大切であり、日々口腔内の清潔を保つ必要があることを理解する。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ アルコールが体におよぼす害について進んで学ぼうとし、学んだことを日常生活に生かそうとするようにする。(態度) ○ アルコールが体に及ぼす害について学んだことから、自分の健康を守るための生活のしかたを考えられるようにする。(思考・判断) ○ アルコールが体におよぼす害を知り、健康におよぼす影響について理解する。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物が体に及ぼす害について進んで学ぼうとし、学んだことを日常生活に生かそうとするようになる。(態度) ○ 薬物が体におよぼす害について学んだことから、自分の健康を守るための生活のしかたを考えられるようにする。(思考・判断) ○ 薬物が体に及ぼす害を知り、健康に及ぼす影響について理解する。(知識・理解) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ たばこ、酒、薬物をすすめられたときの断り方について進んで学び、標語制作を通して健康によい生活行動を自ら実践しようとする。(態度) ○ ポスター制作によって、自分の健康を守るためにはどのようなことが大切か考えられるようにする。(思考・判断) ○ たばこ、酒、薬物をすすめられたときの断り方を理解する。(知識・理解)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 正常な歯茎と歯周病になっている歯茎の写真を見て、その違いを知る。 <div data-bbox="151 709 774 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>虫歯や歯茎の病気の起こり方について調べてみましょう。</p> </div> <p>※ 正常な歯茎と歯周病になっている歯茎の写真資料を見せ、課題意識をもたせられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 酒によって起こった病気や事故についての記事を読み、思ったことを出し合う。 <div data-bbox="822 699 1451 768" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>酒を飲むと、体どんな影響が出てくるのでしょうか。</p> </div> <p>※ 飲酒運転による被害の記事等の資料を見せ、課題意識をもたせられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二つの脳の写真を見て、その違いについて話し合う。 <div data-bbox="1489 663 2128 747" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>薬物乱用とは何でしょうか。どのような害があるのでしょうか。</p> </div> <p>※ 薬物によって異常をきたしている脳と正常な脳の写真資料を見せ、課題意識をもたせられるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ たばこや酒、薬物をはじめのきっかけになったことは何であることを知る。 <div data-bbox="2172 699 2801 789" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たばこ・酒・薬物をすすめられたら、どうやって断ったらよいでしょう。</p> </div> <p>※ 未成年者の喫煙・飲酒、また薬物乱用のきっかけに関する資料を見せ、課題意識をもたせられるようにする。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯の起こり方や歯茎の異常について知っていることを発表する。 <div data-bbox="151 1058 759 1142" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>虫歯や歯茎の病気を予防するためには、どんなことを心がけたらよいか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ お家の人や親戚の人がお酒を飲んでいる時を思い出し、その様子を発表する。 <div data-bbox="822 1037 1427 1121" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なぜ飲酒は20歳からという決まりになっているのか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで聞いたことのある薬物について話し合う。 <div data-bbox="1489 1037 2119 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>シンナーの乱用は体にどんな害があるのか考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の言葉で思ったことを書いてみて発表する。 <div data-bbox="2184 974 2792 1058" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習したことをもとに標語を書いてみよう。</p> </div>
<ul style="list-style-type: none"> ○ 虫歯と歯茎の病気を予防するにはどうしたらよいか考え発表する。 ○ 自分の生活の仕方を振り返る。 ○ 歯磨きを実践する。 <p>※ 虫歯と歯茎の病気の予防のために、実際に歯磨き実践を行うことで体験的に歯磨きの大切さを感じさせる。</p> <p>※ 大きな歯の模型をつかって全員で歯みがきの大事なポイントをおさえることで自分自身の歯みがきの仕方を見直すことができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ なぜ20歳まで飲酒は禁止されているのか考え発表する ○ 未成年のアルコール摂取による体や脳への影響について知る。 <p>※ アルコールの未成年の体に及ぼす影響についての資料を見せることで未成年の飲酒の危険性を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 清涼飲料水とアルコール飲料の選別をする。 <p>※ ソフトドリンクと酒の缶を用いての選別作業を行うことで表記にどんな違いがあるのかを判断させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「未成年者飲酒禁止法」について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物乱用についてのビデオを見る。 <p>※ ビデオを放映し、薬物汚染の恐怖を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ シンナーが体におよぼす害について発表しあう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 標語を書くうえで何が大切か話し合う。 ○ 標語制作を行う。 <p>※ メッセージ性のあるものにする。</p> <p>※ ポスター制作を行うことで自分たちの考えを具体的に表現させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞会をし、互いの標語のよさを認め合う。
<div data-bbox="142 1629 759 1740" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>虫歯や歯茎の病気を予防するには、規則正しい食生活や正しい歯磨きで口の中をいつも清潔にしておくことが大切である。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 <p>※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対しての自分の考えを書くよう声かけをする。</p>	<div data-bbox="822 1629 1451 1713" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>体が発育する時期に酒を飲んだりすると心身におよぼす害が大きいので20歳まで禁止されている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 <p>※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対しての自分の考えを書くよう声かけをする。</p>	<div data-bbox="1489 1629 2119 1713" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>薬物乱用は心身に有害な影響を与える。法律で厳しく禁止されていて誘われても断る強い心をもたなくてはならない。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 <p>※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対しての自分の考えを書くよう声かけをする。</p>	<div data-bbox="2172 1629 2801 1713" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たばこ・酒は20歳からということを守り、薬物は人から進められても絶対に断る強い心をもたなくてはならない。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の感想を書く。 <p>※ わかったことには自分が理解できたこと、思ったことはそれに対しての自分の考えを書くよう声かけをする。</p>